

第2回 江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会議事録

○日時

令和元年9月30日（月）18:00～19:40

○場所

江別市立病院 2階 講義室

○委員

出席：西澤寛俊委員、寶金清博委員、野呂英行委員、樋口春美委員、野村裕之委員、石井吉春委員、水野克也委員、後藤則史委員、森昭久委員、長野芳治委員、中田香委員、高田明委員、鈴木笑子委員

○その他出席者

江別市：後藤好人総務部長、佐藤貴史健康福祉部長、その他関係職員（総務部、健康福祉部）

市立病院：富山光広院長、黒木純子看護部長、白石陽一郎事務長、千葉誠事務局次長、佐野之範管理課長、稲田征己医事課長、池田税病院情報システム課長、加茂経営改善担当参事、その他関係職員（医務局、看護部、診療技術部、事務局）

○傍聴者

31名

○次第

1. 開会

2. 議事

（1）報告事項

- ①江別市病院事業会計決算の推移について
- ②病院事業経営状況（4月～8月分）について
- ③地域医療の現状について
- ④江別市立病院の地域医療連携に関するアンケート調査 集計結果について

（2）協議事項

- ①地域医療において市立病院が担うべき役割について
- ②協議の進め方について

（3）その他

3. 閉会

<p>西澤委員長</p>	<p style="text-align: center;">——— 議事 ———</p> <p>本日の議事ですが、まず報告事項として、江別市病院事業会計決算の推移、それから病院事業経営状況（4月～8月分）、地域医療の現状、江別市病院の地域医療連携に関するアンケート調査について事務局から説明を受けた後、協議事項として、地域医療において市立病院が担うべき役割、協議の進め方について意見交換を行いたいと考えます。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>（異議なし）</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>それでは、次第に添って進めます。</p>
<p>西澤委員長</p>	<p style="text-align: center;">——— 議事（1）報告事項 ①、② ———</p> <p>報告事項のうち、①江別市病院事業会計決算の推移について、②病院事業経営状況について、説明願います。</p>
<p>管理課長</p>	<p>（資料「江別市病院事業会計決算の推移」説明） （資料「令和元年度 診療収益の状況」説明）</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>ただいまの説明について、質疑ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>（質疑なし）</p>
<p>西澤委員長</p>	<p style="text-align: center;">——— 議事（1）報告事項 ③ ———</p> <p>次に、報告事項の③地域医療の現状について、項目を区切って説明を受けたいと思います。</p> <p>はじめに、「北海道地域医療構想の概要」、「札幌圏域における地域医療構想の目標と現状」について、説明願います。</p>
<p>管理課参事</p>	<p>（資料P 3～「北海道地域医療構想の概要」説明） （資料P 8～「札幌圏域における地域医療構想の目標と現状」説明）</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>ただいまの概要について、質疑ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>（質疑なし）</p>

西澤委員長	次に、「江別市及び近隣町村の医療機関の状況」、「江別市及び札幌医療圏における患者受療動向」、「江別市立病院の患者受療動向」について、説明願います。
管理課参事	(資料P 1 4～「江別市及び近隣町村の医療機関の状況」説明) (資料P 2 2～「江別市及び札幌医療圏における患者受療動向」説明) (資料P 3 0～「江別市立病院の患者受療動向」説明)
西澤委員長	ただいまの説明について、質疑ありますか。
石井委員	資料(P 2 2～2 9)について、江別市内の地区別の状況はわかりますか。地区別に流入流出の動向が表れていると思いますので、より細かく数字を示したほうが良いと思います。
管理課参事	資料(P 2 2～2 9)は、厚生労働省の公表データを基に作成したもので、市町村別の数値しか公表されていないため、独自の集計を行うなどの検討を行い、次回以降、地区別の状況を提示するよう調整します。
西澤委員長	そのように調整願います。ほかに質疑ありますか。
委員	(質疑なし)
西澤委員長	次に、「平成29年度病床機能報告制度の結果」、「将来の人口・患者推計」について、説明願います。
管理課参事	(資料P 3 6～「平成29年度病床機能報告制度の結果(概要)」説明) (資料P 4 4～「将来の人口・患者推計」説明)
西澤委員長	ただいまの説明について、質疑ありますか。
石井委員	資料(P 3 6～4 3)について、対象範囲を江別市と南空知の一部の町村としていますが、考え方を教えてください。 実際には江別市の診療圏は、ほぼ市単独に近い状態で、江別市民は市内の医療機関の利用で完結していて、他地域の数字は関係ないのではないかと思います。 また、資料P 4 3では、高度急性期の病床数についても病床数比較を行っていますが、まったくリアリティのない数値になると思います。

<p>管理課参事</p>	<p>このような数字を示すのはミスリードになるだけではないでしょうか。</p> <p>ある種的前提を置き、少なくとも実態ベースで議論を行える数字を示してもらわないと、実態とかけ離れて、“ここに急性期が必要だ”といった議論になってしまう可能性もあります。</p> <p>はじめに、資料（P 3 6～4 3）に隣接する南空知地区医療圏の南幌町等を掲載したことについては、過去から江別市と連携して医療提供を行ってきた経緯を含めて掲載したものです。</p> <p>なお、ご指摘のとおり、全体に占める割合は必ずしも多くありませんので、今後の江別市の地域医療を考えるにあたっては、江別市単独の中で考えることも十分成り立つと思いますので、その点を含めて検討いただきたいと思います。</p> <p>次に、資料（4 3 P）の高度急性期を含めた人口区分別の病床数を記載したことにつきましては、病床機能報告の4区分毎に人口割で算定した数値を示したものです。</p> <p>江別市は札幌医療圏にありますので、江別市における高度急性期は札幌の医療機関の利用を前提として考えることもできると思います。</p> <p>このことについても、委員会で議論いただきたいと思います。</p> <p>なお、資料の数値は、作為を入れずに機械的に計算したものとしますので、ご理解願います。</p>
<p>石井委員</p>	<p>江別市に高度急性期機能が必要かどうか、この委員会で議論するのですか。</p>
<p>管理課参事</p>	<p>高度急性期については、札幌で賄っている実態があり、“このことは資料からも判断できるので、江別市単独で考える必要はないという前提に立って検討を進めていく”このようなイメージです。</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>色々な問題がありますが、江別市内だけでいいのか、近隣市町村も含めるのかどうか。地域医療構想では札幌医療圏全体でどうするかという議論になります。その中で各市町村の高度急性期の数、将来的に人口で割れるものかどうか、ということもあります。</p> <p>札幌医療圏の高度急性期は殆ど札幌にあるので、江別にはなくても良いのではないかという選択もあります。</p> <p>また、この委員会でそこまで議論する必要があるかどうか、ということもありますが、今後、市立病院のあり方を検討していく中で、このこ</p>

委員	<p>とについての議論が出てくるものと思いますので、今すぐにではなく、これから進めていく中で、委員各位から意見を出してもらいながら決めていければと思います。</p> <p>他に質疑ありますか。</p> <p>(質疑無し)</p>
	<p>———— 議事（１）報告事項 ④ ————</p>
西澤委員長	<p>次に報告事項の④江別市立病院の地域医療構想に関するアンケート調査集計結果について説明願います。</p>
管理課参事	<p>(資料「江別市立病院の地域医療構想に関するアンケート調査 集計結果」説明)</p>
西澤委員長	<p>ただいまの説明について、質疑ありますか。</p>
石井委員	<p>アンケートは、記名方式か無記名によるものかお聞きします。</p> <p>調査時期は昨年１０月となっており、時間が経過している影響が大きく、現在の評価としては使えないのではないかと考えますが、この点はどのように考えていますか。</p>
管理課参事	<p>アンケートは、記名によるものです。</p> <p>アンケートの実施時期につきましては、連携医療機関の意向を知るための資料として用意できるものが他に無かったため、提示させていただいたものです。</p> <p>石井委員ご指摘のとおり、現時点で調査を行った場合、異なる回答となる可能性はありますが、１年前のデータということを前提に検討の材料としていただきますようお願いいたします。</p>
西澤委員長	<p>他に質疑ありますか。</p>
委員	<p>(質疑無し)</p>
西澤委員長	<p>———— 議事（２）協議事項 ① ————</p> <p>現在の江別市立病院の業績、事業会計予算、経営状況、地域医療の状況等について、短時間の中で膨大な資料をご覧いただきましたが、引き続き、次第（２）①地域医療において市立病院が担うべき役割につい</p>

	て、意見交換を行いたいと思います。
高田委員	この件について、私の意見を申し上げたく、資料を作成してきたので、各委員へ配布したい。
西澤委員長	資料の配布に異議ありますか。
委員	(異議なし)
事務局	(高田委員作成資料を配布)
西澤委員長	高田委員、発言願います。
高田委員	<p>これから話すことは、この後の協議事項(次第(2)②)協議の進め方に関わるものと思いますので、早い段階で委員間の認識を共有させてもらうほうが良いと思って提案するものです。資料を参照願います。</p> <p>そもそもこの委員会が立ち上がったのは、市立病院の経営が非常に大変で、繰入で補填することもいかなるものかといった、経営問題が大きくなってきたことが、直接的な原因だったと私は認識しています。</p> <p>しかし、議論の本質は、地域医療をどう守っていくのか、その中で市立病院の果たすべき役割があるのかなのかということ、役割があるのであればそれは何か、財政支援はどこまでが合理的水準なのか、このようなことをセットで考えるべきだと思います。</p> <p>提示した資料の一番左端には、“地域医療構想の構築”と記していますが、ここでの地域は江別市を指します。江別市の地域医療を守っていくのは、市内のクリニック、病院全てをまとめて、将来の地域医療をどう守っていくか、これが役割というか使命だと思います。</p> <p>民間病院といえども、医療は公共性の高い分野ですから、単なる経営体ではないと考えます。基本的には民間病院・クリニックが、江別市の地域医療を守っていけるのであれば、公的関与の必要性はないと思います。その議論をやらずに市立病院の役割とあり方というのは議論にならないのではないのでしょうか。</p> <p>なお、民間でできるか否かの議論は当委員会に関わるべきではなく、医療業界で議論をしてもらう必要があると思います。</p> <p>ひとつ例を挙げると、中堅以上の病院には中長期の経営戦略等があるものと思いますので、そういったものを積み上げていけば、10年先、20年先の高齢化時代に備えて、今の医療体制でどう対応していけ</p>

るかがわかります。市内の医療を群としてひとつの結論が出るものと思います。

このような作業、検証が避けられないと思います。配布した資料の「公的関与の必要性」というのはそういう意味で書きました。「公的関与の必要性」が「必要」であれば当委員会を進め、「不要」なれば病院閉鎖です。閉鎖しても問題は山積みですが、だから閉鎖しないというのは邪道だと思います。

公的関与が「必要」なれば、「経済的関与」と「物理的関与」に分岐します。「経済的関与」とは、不採算部門を市の補助金などで補填することで、北広島市・恵庭市ではこのような方式をとっています。「物理的関与」というのは、市立病院を存続させることを前提に、その規模、診療体制、機能と病床数等々といった議論を進め、その先に経営形態のあり方があります。現在は地方公営企業法の一部適用で、公務員が直接経営していますが、これを民営化が必要か否かの議論に移っていくのではないかと思います。

その他、市から多額の繰入金が入っていますが、江別市には、除雪の問題もあれば、高齢者対策もあれば、環境対策もあり、山ほど課題があります。市立病院だけに十数億を繰り入れる形になってはいますが、これでいいのかという議論になるのではないかと思います。これらが一連の議論の流れなのではと思います。

人口動態や高齢化率ははっきりしているのですから、それらを踏まえて、資料左端の核心部分と記した議論をしっかりやる必要があると思います。

私の意見が正しい、妥当とするのであれば、この協議の進め方で時間的に可能なのかということも疑問を覚えます。来年3月が目途だからスケジュールありきということはあってはならない。核心の議論だけはしっかりやる、ということをお願いしたい。

ちなみに、「江別市立病院あり方検討委員会」(平成18年11月～平成19年2月)では、こういった核心の議論は全くなされていなかったと認識しています。病院が独自に立てている経営計画・改革プランについても、民間病院を巻き込んだ本格的な議論はほとんどなされていません。この委員会は財政的にも政策的にもラストチャンスだと思いますので、10年先20年先に「あの委員会は中途半端な結論を出してくれた」と次世代の市民に叱責を受けることの無いように議論すべきだと思います。委員の皆さんから意見をいただきたく、私からの提案とします。

西澤委員長	高田委員からの提案に意見ありますか。
石井委員	<p>提案された資料の「公的範囲の必要性」というところが、市立病院をどう残すかに直結してくるので重要だというのはその通りだと思います。</p> <p>そこに時間をかけなくてはならないということと、必ずしもこの委員会でやるべきことではないとの発言があったかと思いますが、他でやることになると、この委員会を作った意味がなくなるので、この委員会でもどこまでやるのか整理しなければならないと思います。</p> <p>このような経営的な問題というのは時間が勝負ということになりますから、時間をかけて検討するという事は馴染まないと思います。全部を検討できなくても限られた時間で結論を出すことを、この場ではしたいと思います。</p> <p>そもそも、経営問題が深刻化したのは、医者などの医療資源が低下したことが原因であり、市立病院の受療が低下したのは医療資源の供給の問題だと思います。このことが原因で問題となっているので、役割がどうか機能がどうかということと同じくらい、医療資源をどこまで確保していくのかという議論が重要であると思います。</p> <p>そうした議論は避けられない大きな要素ですから、時間をかけて役割や機能を議論して病院を残すとなっても、残しようがない状況になってしまうと思います。</p> <p>今のまま赤字をずっと出し続けることがいいかといえ、そうではありません。そのことは医療提供の問題に行き着くことになりますから、やはり医師を確保できるかどうかというのを議論することが大事だと思います。当委員会では、そのことも何らかの形で結論を出す必要があるのではないかと考えています。</p>
高田委員	<p>先ほど述べた、“この委員会で議論すべきではない”というのは、提示した資料の左端の議論を、民間病院で議論してもらい、その議論に当委員会が関わることができるのではないかと、という意味です。</p> <p>もう一つ、スケジュールですが、当委員会の設置要綱では、専門委員会を設置することができるので、この専門委員会の有効活用も必要なのではないかと考えています。</p> <p>委員全員が2回3回と集まって2時間の議論をすることは物理的に不可だと思いますし、だからといって、議論が不十分な状態で終わるのも違うと思います。そうであれば、早い段階でこの専門委員会で議論すべき必要があるのではないかと考えています。</p>

<p>西澤委員長</p>	<p>当委員会のあり方について議論がありました。</p> <p>市立病院の役割というのは、ある意味では「この病院は必要なのかどうか」という議論になっていると思います。</p> <p>このことをどう進めるか、経営問題と合わせて考えるか、或いは、別々にやるべきか、ということになるのかと思いますがどうでしょうか。</p> <p>ただ、黒字赤字だけで物事を考えることではないと思います。やり方によっては公立病院を黒字にすることも可能と思いますが、それが市民にとって満足のいくものとは限りません。</p> <p>市民のためにどのような役割を担うかということと、経営を健全化するということは別で考えて、妥協点を見出していきたいと考えます。</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>他に意見ありませんか。</p>
<p>樋口委員</p>	<p>これまでの議論を聴いて、いろいろな意見があるなと思いましたが、地域医療構想が外せないということは共通理解と思います。</p> <p>2次医療圏だけで考えるのではなく、江別との切り分けを考えると3次医療圏なのかなということと、2次医療圏の中での札幌と他町村との違いによる協議の仕方もあるのかなと思いました。</p> <p>江別市立病院を中心に、近隣の民間病院と現在どのような話し合いが持たれていて、どのような患者の行き来があったりするのかなということが分かりませんが、まずは江別地区で地域医療構想を地域で考えてくださいというのは、あまり強くは言われていません。</p> <p>近隣地区の医療機関が集まって、どのように江別市の医療資源を活用していくのかを、小さい単位毎にでも協議を行い、その結果を教えて貰いたいと思います。</p> <p>また、医師についてどのような確保の仕方があるのかなということも思いました。</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>樋口委員の発言に関連して、地域医療構想では江別市は札幌医療圏に含まれていますが、地区毎に分かれて、その中の医療機関が集まり将来的に施設をどうしようか等の意見交換を行うことになっていますが、江別市を中心とした地域の現状はどうですか。</p>
<p>管理課参事</p>	<p>江別市や江別保健所が中心となって、地域医療構想における病床機能調整に関する協議の場等は、設けられていません。</p>

	<p>また、市立病院をはじめとして個別の医療機関が中心となって、このような話し合いの機会を設けている例も今のところないものと認識しています。</p>
西澤委員長	<p>わかりました。各地域の温度差はありますけれども、ここでそれを決めるということはないということです。</p>
西澤委員長	<p>他に意見ありますか。</p> <p>当委員会は、委員の意見によって方向性が変わるものと思っていますが、高田委員の提案については、意見がまとまらないようなので、一旦、保留して先に進めたいと思います。</p>
管理課参事	<p>本日の議論にありました、医療需給について、北海道全体の人口減少から病床を減らしていく地域は多いと思いますが、札幌医療圏では、医療需要が一定程度見込まれることがデータから見えますので、需要面からの検討を加えていただきたいと思います。</p> <p>今回提示した資料は、あくまで人口動態から予想した全般的な医療需給の動向ですので、これを踏まえて医療提供をどうするのかについては、公的機関が担うべきなのか、民間が供給すべきなのか、例えば、小児や周産期等、いわゆる政策的な医療分野にフォーカスした資料を準備することは可能です。</p> <p>先ほどの議論にあった、民間医療機関の協議ということになりますと、どのようにすべきか、事務局側としても案は持ち合わせていませんので、意見をいただきたいと思います。</p>
石井委員	<p>需給面の話でいうと、入院の流出の評価が重要になると思います。</p> <p>資料から約6割が市外に流出していますが、年齢と病名でどのような動向になっているか情報が必要です。</p> <p>また、将来の動向を考えると、同じ急性期という範疇でも、患者層は当然高齢化していくので、入院需要も大きく変化して、今の病床をベースにしたらいっただいどこまで受け入れ可能なのか、もっと流出する可能性が高いのではないかと考えられます。</p> <p>極端に言うと、中途半端な急性期は将来未来の需要としては先細る可能性というのが、地域医療構想の基本的な考え方となっているので、年齢と病名の両方を考えなければ、見えてきません。</p> <p>今回までに提示された資料を基にした検討では、高齢者が増えていく過程で入院患者は増えますから、将来必要な機能もほとんど追いつ</p>

西澤委員長	<p>かないなどの、乱暴な議論になってしまうのではないか。</p> <p>少なくとも年齢と傷病名から見て、今の状態だと将来どうなるのか、どう見えるか予想できる数字が出てくれば、少しはそういうところを踏まえた議論ができる話になると思います。</p> <p>他にありますか。</p>
寶金副委員長	<p>高田委員の意見も素晴らしいと思いますが、原則的には機能の問題だと思います。</p> <p>公的機関として必要な役割があることもわかりますが、税金の投入として、他の市立病院と比べてもこれほど悪い例はあまり見たことがないので、放置できない状況にあると思います。</p> <p>高田委員の提案のとおり、委員会の頭で公的必要性の議論をやると、議論が止まってしまうのではないかと危惧するところで、石井委員の意見のとおりデータに基づいて、オール・オア・ナッシングではありませんが、適正な診療に絞っていくという方向に収束するのではないかと想定します。</p> <p>例えば、委員長にワーキンググループを設置して貰って、そこで“どのくらいの医療提供を市立病院がしなければいけないか”という議論をする過程で、だんだんと公的機関の必要性が具体的にみえてくるのではないかという印象を持ちました。</p> <p>そういう形での議論も非常に重要なので、委員会の日程に、ワーキンググループに“一定程度答えを出してもらおう”という形で、公的ではない議論を設けてはどうかと思います。</p>
西澤委員長	<p>ありがとうございます。他にありませんか。</p> <p>高田委員から委員会の提案ですが、市立病院が直面する経営危機があるので、現在、また、将来の受療動向や、それに対して江別市内の供給はどうなっているのか、これらを基に議論していくことになるものと考えます。</p> <p>また、小委員会、ワーキンググループを作ってみてはどうかという意見もありましたので、事務局と調整のうえ、次回の委員会に諮りたいと考えます。</p> <p>次に、今後の進め方について、事務局より説明願います。</p>
管理課参事	<p>———— 議事（２）協議事項 ② ————</p> <p>それでは、委員会の進め方につきましては、これまでの議論で委員か</p>

	<p>ら意見がありましたので、確認を含めて検討をお願いします。</p> <p>本日（第2回）は、地域医療の現状として、地域医療構想等の資料を提示いたしましたが、次回（第3回）は、市立病院が担う医療に関する事項を議題として、先ほど意見のありました、疾患別・年齢別の疾病動向、江別市民の受療動向の資料を準備したいと考えます。</p> <p>基礎となるデータは、DPC対象病院のデータ、また、国保・後期高齢者のレセプトデータとなりますので、高齢者に偏る可能性があることを承知願います。</p> <p>なお、協会けんぽのデータについては、仮定を置いた上で計算する形になると思いますが、これらを前提に議論いただきたいと考えています。</p>
石井委員	<p>あるデータで分析するしかないのでは、仕方ないと思います。</p>
管理課参事	<p>議論に資する形となるよう資料を準備します。</p> <p>ワーキンググループの設定につきましては、人選や日程調整、協議の仕方などについて、委員長と調整をさせていただきたいと考えます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
西澤委員長	<p>わかりました、調整願います。</p>
西澤委員長	<p>それでは、次回開催日までに、今日の協議の内容を踏まえて事務局に資料等の準備をさせます。</p> <p>ワーキンググループ（専門委員会）については、事務局と検討を行います。</p> <p>他にありませんか。</p>
實金副委員長	<p>可能であれば、現状を評価するうえで、市立病院がこのような状態になるまでに至った歴史というか過去を示して貰いたい。</p> <p>繊細な部分もあるので、全部を公開、あるいは全てを文章化することは難しいでしょうから、可能な範囲で構いません。</p> <p>現在の問題の理由を内科医が足りないということだけに押し込めるのは良くないと思うので、一定程度の内容が資料化されていると議論しやすいと思います。</p>
管理課参事	<p>わかりました。</p>

西澤委員長	他にありませんか。
委員	(意見なし)
	—— 議事 (3) その他 ——
西澤委員長	事務局から追加等、何かありますか。
管理課参事	<p>次回の日程については、事前に調整させていただき、10月28日(月)午後6時から、場所は市立病院講義室を予定しています。</p> <p>また、第4回以降の日程につきましては、本日、各委員から提出いただいた日程表に基づき調整いたしますが、ワーキンググループ(専門委員会)設置の意見を含めて調整し、確定次第、連絡いたします。</p>
西澤委員長	他にありませんか。
委員	(なし)
	—— 3. 閉会 ——
西澤委員長	<p>以上をもちまして第2回「江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会」を終了します。</p> <p>19:40閉会</p>